

このたびは、ミツバ「ガードックロ・バイスガード」をお買い上げ頂きまして、ありがとうございます。
この取扱説明書は、商品の正しい使い方、使用上の注意について記載しております。
本書を最後まで必ずお読み頂き、商品を正しくお使いください。また、本書が必要になったとき、すぐに
利用出来るように大切に保管してください。

1 注意事項

ここでは、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを意味します。

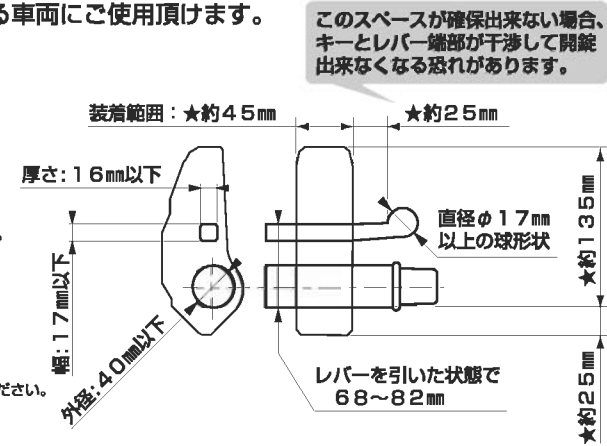
- ・本品を装着したまま絶対に走行しないでください。装着したまま走行した場合、重大な事故の原因となります。
- ・走行時、本品をハンドルやミラー等にぶらさげないでください。ハンドルをとられて転倒する恐れがあります。また、走行中に落下させると重大な事故の原因となります。確実に収納してから走行してください。
- ・電池交換の際、交換した電池は幼児の手の届かないところにおいて早めに処分してください。万一飲み込んでしまった場合には、すぐに医師に相談してください。
- ・本品の警報を耳のそばで作動させたり、長時間の試聴はしないでください。耳に障害を与える恐れがあります。

注意 取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険性が想定されることを意味します。また、物的損害が発生する恐れがあることを意味します。

- ・本品は車両のグリップとブレーキレバーをロックし、傾斜変化を感知し警報を発することで盗難やいたずら等を抑止するものであり、完全に防止するものではありません。本品を装着した車両が万一盗難やいたずら等の被害に遭われましても、本品の正常、異常にかかわらず、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本品をワイヤー式ブレーキ車には使用しないでください。ブレーキワイヤーが伸びる恐れがあります。
- ・適合条件に適合する車両にお使いください。無理に装着しないでください。本品及び車両の故障の原因となります。
- ・本品は、必ずトップカバーが上になるように装着してください。故障の原因となります。
- ・本品の分解、改造は絶対におこなわないでください。また、本品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ・本品の不具合については、当社製造上の欠陥を除き責任を負いかねますので、取り扱いに十分ご注意ください。

適合条件 下記の条件に該当する車両にご使用頂けます。

- ①油圧式ブレーキの車両。
- ②ブレーキレバー端部が直径φ17mm以上の球形状の車両。
- ③右図の装着範囲内でレバーとグリップが以下の条件を満足する車両。
 - ・レバーの形状がほぼストレートで、幅：17mm以下、厚さ：16mm以下であること。
 - ・グリップの外径が40mm以下であること。
 - ・レバーを引いた状態でグリップとの距離が68～82mmであること。
- ④レバーとグリップ周辺に、右図の★印寸法のスペースが確保出来る車両。
※ハンドルを左右にロックするまで切った状態で確認してください。



キーの紛失に備えて

キーは紛失した場合に備え、1つをスペアとして別に保管することをお奨めます。また、ご使用頂く前に、キーに刻印された番号を必ず下の記入欄と保証書の記入欄に控えておいてください。万一、キーを紛失されてしまった場合には、本品をお買い求め頂いた販売店様にて、刻印番号を添えてご注文ください。

注意 刻印番号が不明な場合、スペアキーのご購入は出来ませんので、必ず控えてください。

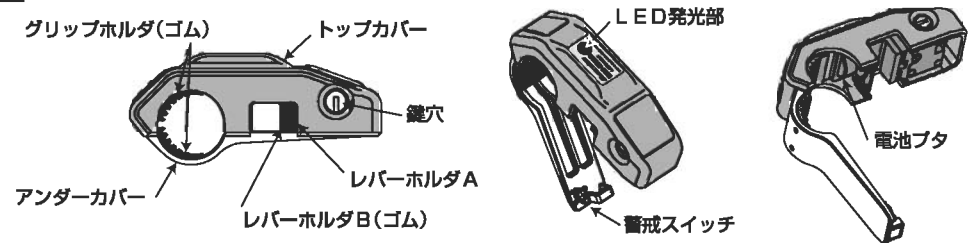
キー刻印番号					
--------	--	--	--	--	--

2 セット内容・主な仕様



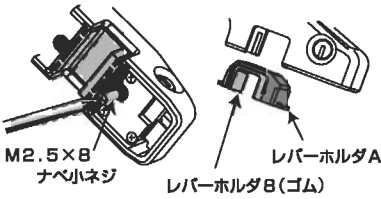
主な仕様	
本体重量	400g
動作温度範囲	-10～50℃ (電池の性能・気温により変動します)
保存温度範囲	-30～70℃
定格電圧/使用電池	DC6V/CR2032×2個
警報音圧	100dB
電池寿命 (20℃の場合)	1日8時間警報(警報1回) : 約6ヶ月 連続警報(警報なし) : 約4ヶ月

3 各部の名称



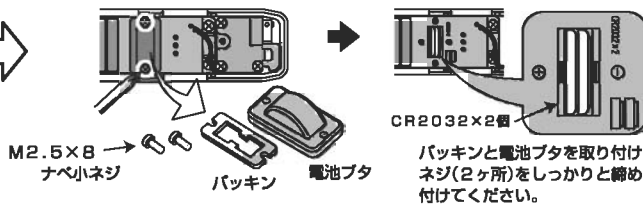
4 電池のセット、グリップとレバー位置の調整

下図のネジ(1ヶ所)をナドライバーで取り外し、レバーホルダA・Bを引き出してください。



電池のセット

電池ボタのネジ(2ヶ所)を外し、電池ボタとバックンを取り外してください。



+-の向きに注意し、電池をセットしてください。

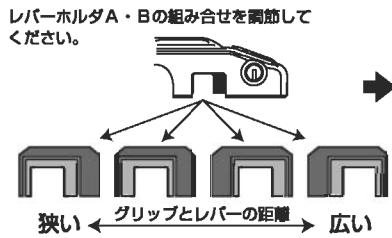
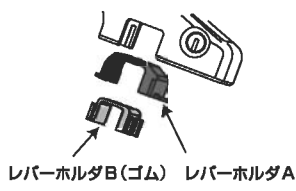
バックンと電池ボタを取り付け、ネジ(2ヶ所)をしっかり締め付けてください。



- 古い電池と新しい電池の組み合わせや、メーカー、型式の異なる電池を組み合わせて使用しないでください。
- 交換の際は、部品を紛失しないよう注意してください。
- 本品を長期間使用しない場合は、電池を抜いて保管してください。

グリップとレバー位置の調整

- 車両のグリップ外径がφ35mmを超える場合は、グリップホルダ(2個)を取り外してご使用ください。
- レバーの固定位置は、レバーホルダA・Bを取り付ける方向の組み合わせにより、4段階に調節出来ます。



レバーホルダA・Bを本体に取り付け、ネジで固定してください。

5 使用方法



ご使用頂く前には、必ず、キー操作や施錠・開錠が確実に出来ることを確認してください。作動しにくい場合には、鍵穴や可動部に潤滑剤を適量、注入してください。また、定期的(三ヶ月に一度)に防錆効果のある潤滑剤を鍵穴や可動部に適量、注入してください。

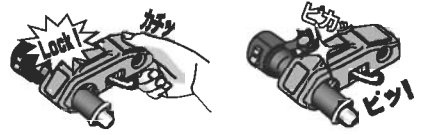
施錠手順

- ①キーを右に回し、アンダーカバーを開いてください。
- ②警戒スイッチをONにしてください。
*OFFにすると警報機能は作動しません。
- ③レバーを引いた状態で、本体をグリップとレバーに被せてください。
*注意 キーの開錠操作が出来るスペースがあることを確認してください。

④アンダーカバーを閉じればロック(施錠)完了です。正しくロックされると、約1秒後にLEDとアラームが同時に1回だけ作動します。その後、センサーが姿勢を認識(約15秒間)すると、LEDが点滅を始め警戒を開始します。



- 姿勢認識にかかる時間は周囲の環境により長くなる場合があります。(特に低温時や振動が加わっている場合など)
- LEDが約10秒間点滅した場合は電池切れの警告表示です。早めに新品の電池と交換してください。



警戒中に傾斜変化を感知すると、アラームとLEDの点滅で、約15秒間警報します。その後、再度姿勢を認識してから警戒状態に戻ります。



開錠手順

- ①キーを右に回し、アンダーカバーを開いてください。
- ②レバーを引いて本体を取り外してください。
- ③警戒スイッチをOFFにしてください。
*使用しない時は、必ず警戒スイッチをOFFの位置にしてください。

6 機能の補足

- 本品は、姿勢の変化量と変化時間を独自のアルゴリズムで感知し警報します。車体の傾きやハンドルの角度が大きく変化しても、本品の姿勢変化が少ないと警報出来ない場合もあります。また、誤作動防止のため瞬間的な振動や衝撃では警報しないようになっています。
- 異常を感知して警報(約15秒間)した場合、警報終了後の姿勢を再度認識(約6秒間)してから警戒状態に復帰します。姿勢認識にかかる時間は周囲の環境により長くなる場合があります。(特に低温時や振動が加わっている場合など)
- 警戒時のLED点滅時間について
 1. 施錠後8時間まで : 約2.5秒間隔で点滅
 2. 施錠後8時間経過後 : 約5秒間隔で点滅(省エネ機能)
- 電池切れ警告表示について(5 使用方法、施錠手順④の注意事項参照)

電池切れ警告表示は、警戒スイッチをONにして施錠したときのみLEDの点滅で表示します。長期間使用する場合は、定期的に施錠しなおし、電池切れ警告表示を確認して頂くことをお奨めします。

《確認方法》警戒スイッチをONにしてアンダーカバーを閉じたときに、LEDが約10秒間点滅した場合は、電池残量が少なくなっています。早めに新しい電池と交換してください。
- 以下の場合、警報途中で警報を停止したり、警戒を解除することがあります。
 - ①電池が消耗している場合。
 - ②低温時に警報した場合。(低温時には、新品の電池でも電池の特性上、一時的に電圧が大きく低下します)これは電池消費時の誤動作を防止する保護回路が作動したためであり、故障ではありません。一度開錠し、再度施錠することで復帰します。

調査及び修理をご依頼の前に

- 調査及び修理をご希望される場合には、お買い上げの販売店様または弊社技術サービスまでご相談ください。
- 不具合の内容によっては保証対象外となる場合があります。保証範囲について下記の保証規定をご確認ください。
- 調査を依頼される際の送料は、お客様の負担となります。あらかじめご了承ください。
- 弊社では商品の調査時の代品等の貸し出しは一切おこなっておりません。

キリトリせん

<< 保証規定 >>

保証範囲や条件など詳しい内容についてご説明します。必ずお読みください。

お買い上げ頂きました本品は、弊社の厳しい品質管理のもとで製造されたものです。万一、製造上の不具合がありました場合には、この保証書に示す条件に従って無償で修理・交換させて頂きます。

修理の際は、バイスガード本体とキーに本保証書と不具合内容を記入したメモを添えて、お買い上げの販売店様にご依頼ください。

- この保証書は、保証期間が満了したときに効力を失うものとします。また保証期間内であっても商品が日本国内に持ち出されたときは効力を失うものとします。(This warranty is valid only in Japan.)
- この保証書は破損または紛失した場合でも再発行は致しませんので、大切に保管してください。
- 次に該当する場合は、保証期間内であっても無償修理の対象となりませんので、ご注意ください。
 1. 本品を分解・改造した形跡が認められた場合。(本品のシール類を剥がした場合も含む)
 2. お客様の故意または過失による故障と認められた場合。
 3. 地震・台風・水害などの天災ならびに火災・事故・その他紛争などによる損傷が認められた場合。
 4. 電池の不具合(消耗、液漏れ、破裂等)に起因する故障と認められた場合。
 5. 取扱説明書に記載されている諸事項が守られなかったために不具合が発生した場合。
 6. 保証書の提示がないか、あるいは記載事項の不足、文字の書き換えが認められた場合。
 7. 販売店様の押印またはレシートが無い場合。